

朝のあいさつ運動



希望とともににつくりだす
横浜市立豊田小学校

朝のあいさつ運動



朝のあいさつ運動



希望とともににつくりだす
横浜市立豊田小学校

あなたの心に
すむ
鬼は . . .

どんな鬼ですか？

5年

心にすむ鬼 どんなオニ?! 5-2



人の言うことを
聞けない鬼

才二

5年

5年



6年 家庭科



6年 家庭科



6年
家庭科



5年国語

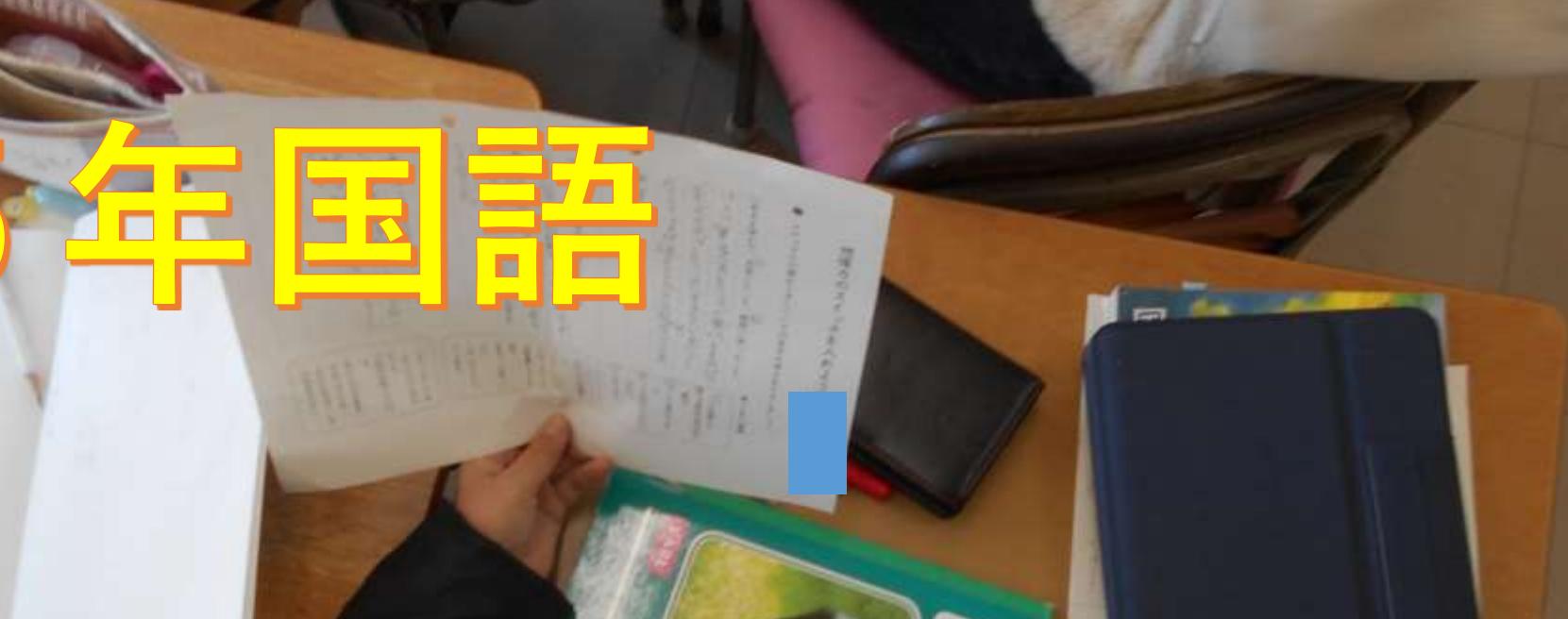
想像力のスイッチを入れよう

5年国語



想像力のスイッチを入れよう

5年国語



想像力のスイッチを入れよう

自分も相手も
大切にする

あたりまえ

- ・時間を守る
- ・人を大切にする

リーダー(最上級生)に
なるために

人の
かかわり方

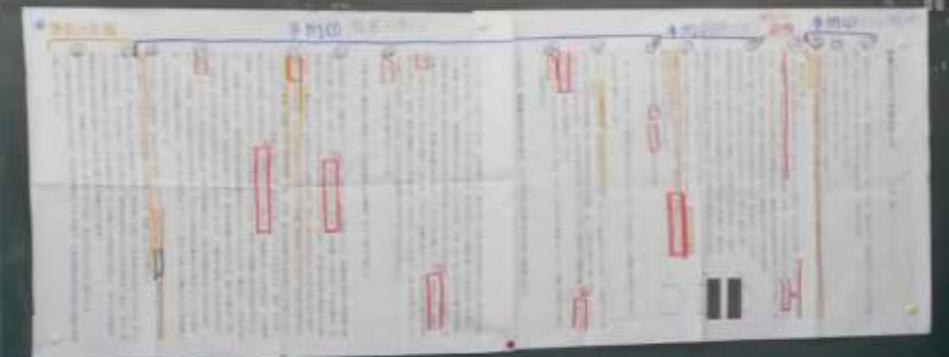
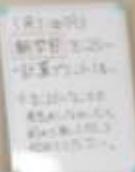
想像力の
スイッチ

5年

5年 国語

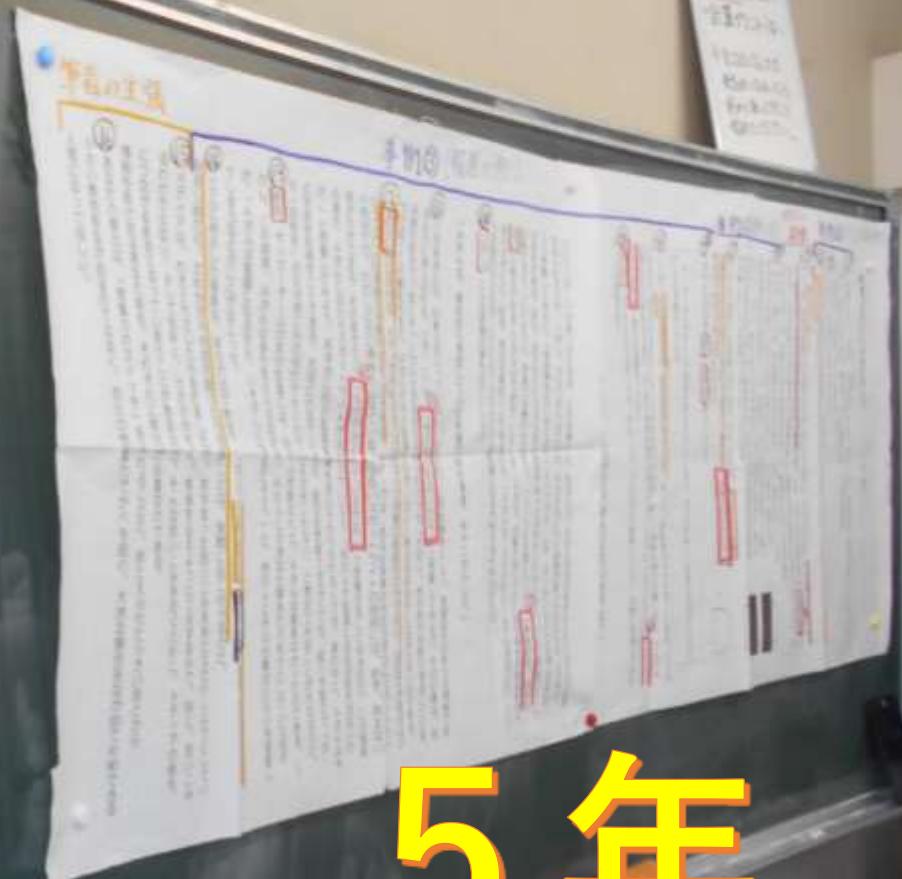


5年 国語



5年 国語

- ① 一つ一つの意見事例(①②③)を具体的に伝えたかったか
- ② 筆者は、なぜ複数の事例を挙げたのだろう。
- ③ 事例を挙げて説明する、との効果を考えよう。



5年 国語



日にとびこんで、また情報をまとめる
本で印象をもつて、いよいよこの本
は本として、買った人にとっても
この本をよんで、それって本当
と感じた。

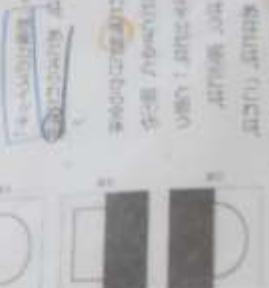
見ました

かわいいの、うわ

（）
（）
（）
（）

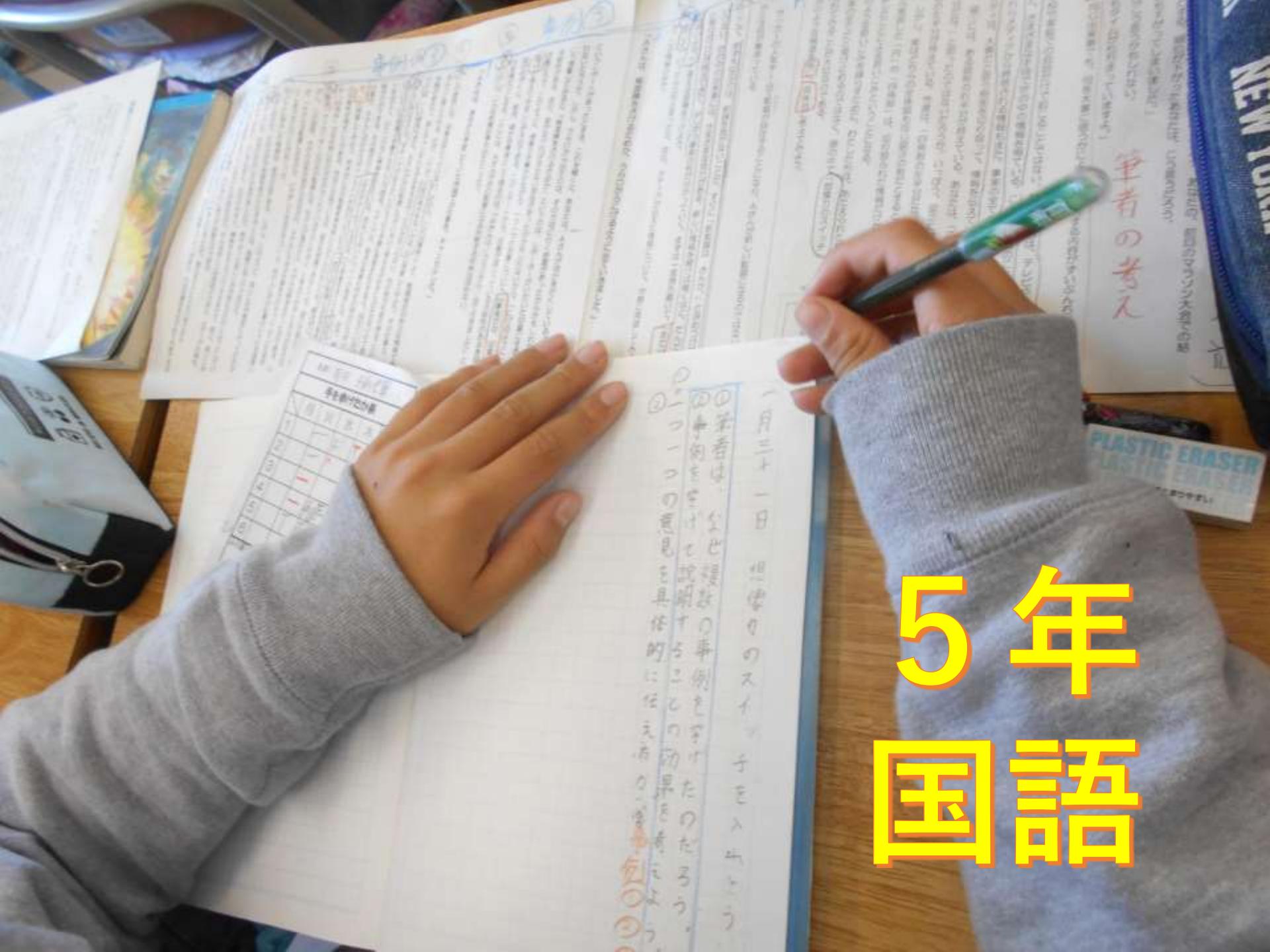
（）
（）
（）
（）

（）



（）
（）
（）
（）

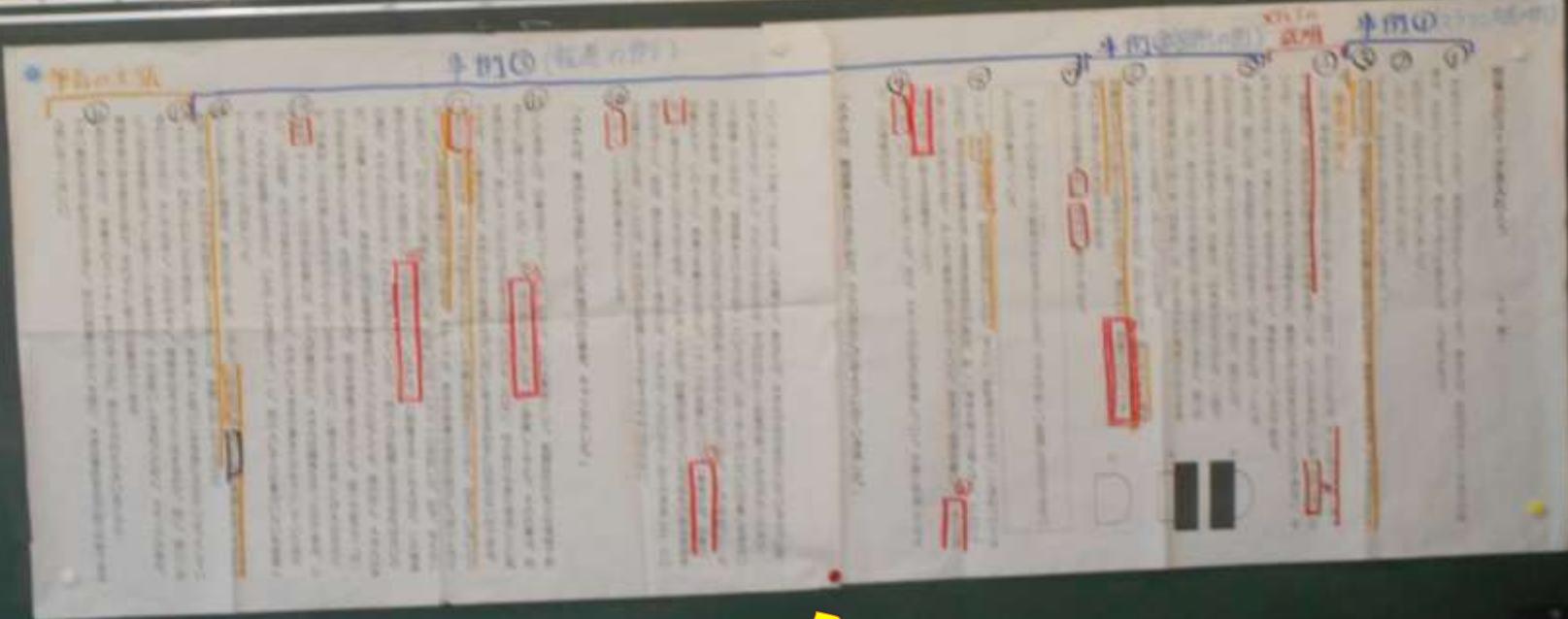
5年 国語



5年 国語



の事例を挙げて説明することの
挙げたのだろう。



5年 国語

5年 教室



5 年



図書館



図書館

は, 予 読書ノート
おすすめの本
気持ちにあわせて
えらんでみよう!



くわく・どきどき
楽しく読める本

図書館



いじめ防止に向けた提言

青少年の健全育成のために、子どもに関わる全ての大人に向けて

いじめから子どもたちを守るために
大人がすべきこと、できること、
たくさんあります。



- 多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを美感し、自ら問題を解決していくたくましい心を育てよう。

いじめ防止に向けた提言

横浜市いじめ問題対策連絡協議会

今半段、新型コロナウイルス感染拡大予防のために、子どもたちは、「人とつながり」が分析される状況を結構なくされた。しかし、本来、子どもたちは、自分たちの心をもたらすことであつた。その心をもたらすことで、社会全体が安心感として、うつむきやうつむきの心を持つていてもいく必要がある。

いじめ防止対策推進法には、「いじめについては社会がかりで取り組むこと」、横浜いじめ防止基本方針には、「特定の子どもや立場の人だけの問題とせず、近く社会全体で実現に取り組むこと」と示されている。新型コロナウイルス感染症に伴う、隔離や差別の問題の発生、そうした問題に向き合うことを機動する社会の尊厳感から脱却し、改めて、大人も子どもも共に「いじめ」について考え方、自力で行動していくことは重要である。コロナ禍と変わらぬうだからこそ、社会全体で「いじめ」と向き合い、改めて「いじめ」の解決をしていく必

子どもに関わる全ての大人が、信頼及び尊さも含めた多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもたちに安心できる空間を提供しよう。また多くの「大切な人」との出会いを創ろう。

子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを美感し、自ら問題を解決していくたくましい心を育てていくこと。子どもに関わる全ての大人が信頼感を培い、繋わり合える社会をつくっていくことは、誰か責任を負うし、子どもたちを疎かに扱うことではあり、社会全体で「いじめ」そのものの乗り越えしていくことに他ならない。そこで、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が、「いじめの防止に向けた提言」を策定・発表することを決意して、市議会議員が一丸となって、今後一歩、右足を深めながら歩いていきたいと考える。

12月は横浜市 いじめ防止啓発月間です

横浜市いじめ問題対策連絡協議会

いじめ防止に向けた提言

青少年の健全育成のために、子どもに問わる全ての大人に向けて

いじめ防止に向けた提言

いじめから子どもたちを守るために
たくさんあります。

たくさんあります。



- 一 多様なコミュニティーを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 一 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 一 子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していくけるたくましい心を育てよう。

自ら問題を解決していけるたくましい心を育てよう。

提言策定の理由と主旨

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、子どもたちは、「人とのつながり」が分断される状況を余儀なくされた。しかし、本来、人と関わることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぐことである。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さについて考えていく必要がある。

いじめ防止対策推進法には、「いじめについては社会総がかりで取り組むこと」、横浜市いじめ防止基本方針には、「特定の子どもや立場の人だけの問題とせず、広く社会全体で真剣に取り組むこと」と示されている。新型コロナウイルス感染症に伴う、偏見や差別の問題の発生、そうした問題に向き合うことを優越する社会の構築から脱却していくこと、大人も子どもも人に「いじめについての心、自己尊重の行動」していくことは重要である。コロナ禍と言われるうたがうことで、社会全体で「いじめ」と向き合い、改めて「いじめ」の捉え直しを

要があるのでないだろうか。

子どもに関わる全ての人が、現実及び仮想も含めた多様なコミュニティーを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供していくこと。さらに、地域・家庭が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創っていくこと。そして、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくこと。子どもに関わる全ての人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子どもたちを柔らかく包むことであり、社会全体で「いじめ」そのものを乗り越えて、より良い社会へと向かっていけることである。横浜市いじめ防止連絡協議会が「いじめ防止に向けた提言」を実現することを通して、市民全体が一丸となって、今後一層、取組を深化させたい。(令和2年10月策定)

いじめ防止に向けた提言 横浜市いじめ問題対策連絡協議会

12月は横浜市 いじめ防止啓発月間です

横浜市いじめ問題対策連絡協議会



TOYODA STORY

1年教室

もうすぐみんな
2年生



見つける。



1ねんかんを
はりかえる。



おもい出す。
これからに
つなげる。



1ねんかん、
どんなことがあったかな



もうすぐみんな
2年生

もうすぐみんな
2年生

1年教室

もうすぐみんな
2年生

1年教室

もうすぐみんな
2年生

1年教室

もうすぐみんな
2年生

1年教室





希望をともにつくりだす
横浜市立豊田小学校



希望とともにつくりだす
横浜市立豊田小学校



























希望とともににつくりだす
横浜市立豊田小学校